

助成事業報告書

薬学部薬学科 2年次生 山本真実

1. 留学の概要

〈期間〉平成27年2月28日～3月22日

〈留学先〉マルタ共和国 セントジュリアン EC マルタ

〈目的〉英語の習得、異文化交流、マルタ共和国における医療について学ぶ

〈場所〉マルタ共和国 セントジュリアン

〈滞在方法〉ホームステイ

2. 語学学校

セントジュリアンにあるECに入学した。

ECは世界各地にある大規模な語学学校でマルタ校には日本人スタッフが常駐しており、様々な面でサポートしてくれるため初めての留学かつ英語に自信がない私には大変心強かった。

入学初日にライティング・リーディング・リスニングのペーパーテストを行い、その結果とアンケートによりクラス分けされる。私はアンケートにおいてスピーキングとボキャブラリーの強化を希望し、pre-intermediateの15人ほどのクラスとなった。クラスメイトはブラジル・コロンビア・ロシア・ギリシャ・日本の10代～30代の男女でそのほとんどが長期休暇を利用した短期留学生であった。



語学学校のクラスメイト

授業は15分の休憩をはさんで90分授業を2コマ行った。授業の始めに先生から提示されたその日のテーマについて、教科書やインターネットを活用しながらのディスカッションを中心に進められた。ディスカッションでは発音や言い回しなどのスピーキングだけでなく文法、語彙などにも注力していた。しかし正確さよりも伝えたい事柄をいかに相手に理解してもらえかが最も重要視されていた。

授業以外にも様々なアクティビティや無料授業があり、英語の勉強を利用して生徒同士がつながりやすい環境が整っていた。

3. 生活

マルタ共和国は冬季でも温暖とのことだったが、実際は風が強くコートがほしいほど寒かった。通貨はユーロで物価は日本とあまり大差なく、食事はイタリアの影響が感じられるものが多かった。伝統的な料理のウサギは食べる機会を逃してしまったがまた機会があればぜひ挑戦してみたい。

学校は半日で終わるため、授業開始前や授業終了後には現地で知り合った友人と観光したり、アクティビティや無料授業に参加した。

マルタ島内の移動はバスでほぼ網羅しており、ゴゾ島やシチリアにも日帰りで訪れることが出来る。

生活の中でネイティブな英語を聞き、ネイティブスピーカーとコミュニケーションをとる場面を増やしたいと考え、ホームステイを選んだ。

しかしマルタでは英語よりもマルタ語が主流のようで私が想定していたよりも英語が話されていなかった。ホストファミリーの英語も訛りが強いように感じられ、期待通りのホームステイとはならなかった。しかしながら文化の異なる家庭で生活したことはよい経験となった。



スリーシティーズ

4. マルタの医療

マルタは元々聖地エルサレムで巡礼者や十字軍の負傷兵への医療奉仕を担っていた聖ヨハネ病院騎士修道会の本拠地であった歴史をもつ。当時の病院の様子を再現した **the knights hospitallers** を訪れ、治療の様子や医療の進歩について学んだ。

またセントジュリアンにある薬局を訪ね、マルタの薬剤師の方にマルタの薬剤師についてお聞きし、日本とは異なる薬剤師のあり方に触れた。



薬局

5. 感想

聞くこと、見ること、触れることすべてが刺激的でこの上なく充実した 3 週間であった。

英語力自体の成長は微々たるものかもしれないが、英語を話すということに対するハードルが下がり、表情やジェスチャー、声色などできるすべての表現法を駆使する度胸と、伝える面白味を感じた経験は大きな収穫だった。

ディスカッションをするうえで自分の意見を持つこと、積極的に発言することの大切さを知った。発言するためにはまずテーマについて最低限の知識が必要であり、それに対して考慮したうえで自分の考えを明確にしなければならない。知識がないことが会話の停止に直結する。この感覚は今後の学習意識の向上に繋がると思う。さらに海外の方と話すとき日本人としての自分が色濃くなり、話題によって自分中で重要視する視点が変化することを実感した。これは自分のアイデンティティを見つめ直す良い機会に

なった。海外の方と一緒に学んだことで、今までの自分の学習に対する姿勢が受動的だったことに気が付いた。失敗や分からないこと、知らないことを悪いこととしてではなく、新しいことを知るチャンスとして前向きに捉えて能動的に勉学に励みたいと思う。

6. 最後に

末筆ではありますが留学したことにより今後の人生において大きな糧となる経験と世界各国との絆を得られたのは一重に国際交流基金助成事業のおかげだと思います。心より感謝申し上げます。この留学を無駄にすることが無いように日々の学生生活に尽力していきたいと思っています。ありがとうございました。